

令和8年10月 日

久喜市長 貴志 信智 様

久喜市行政評価委員会
委員長 石 上 泰 州

行政評価の推進について（答申）

令和6年10月21日付け久企第286号で諮問のあった行政評価の推進について、当委員会において慎重に審議を重ねてまいりました。

ここに、令和6年度、令和7年度及び令和8年度における行政評価並びに行政評価システムについて下記のとおり答申します。

行政評価を実施することにより、事業目的やコストに対する職員の意識改革につながり、また、評価結果を積極的に公表することで、行政の透明性を確保し、市民の行政に対する関心を高めることになるものと考えます。

本答申が十分に活用され、今後の市政運営につながることを期待します。

記

- 1 令和6年度、令和7年度及び令和8年度の行政評価に関する意見
別添のとおり
- 2 行政評価システム全般に関する意見
 - (1) 行政評価における重要業績成果指数（KPI）や活動指標について、市の評価などの影響を測る指標を検討するなど、施策の評価に当たり、定量的な部分の評価だけではない指標も検討いただきたい。また、これらの指標の目標値について、実績値の経過を踏まえて適切に設定いただきたい。
 - (2) PDCAサイクルの更なる推進を図り、施策の実現に向けた行政運営を図られたい。
 - (3) どの事業においても、幅広く市民の声や提案を受ける機会を設け、市政運営に活かしていただきたい。また、市政に関する情報を積極的に発信していただきたい。

令和6年度の行政評価に対する意見

別添

基本目標1 みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる		
施策		委員会意見
1-1	互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する	多様化する人権問題に対して、相談しやすい窓口を設置し、迅速かつ丁寧な対応に努められたい。 また、市民が互いに人権を尊重する意識を高めるよう、関係機関と連携し、周知の方法を工夫されたい。
1-2	すべての人々が暮らしやすい共生社会をつくる	市の女性職員がより能力を発揮できるよう、研修体制や柔軟な働き方ができる環境を整え、女性職員の管理職登用により力を入れて取り組んでいただきたい。 外国籍の市民が暮らしやすい環境づくりと情報発信を推進されたい。
1-3	心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える	不登校など様々な事情がある児童生徒について、学校と家庭の連携を含め、適切な支援を行っていただきたい。 学校施設について、計画的に修繕を行い、適切で効率的な維持管理に努められたい。
1-4	地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする	市民大学や高齢者大学に加えて、あらゆる年代の市民が学びの機会を得ることのできる、魅力ある講座や催しなどを実施いただきたい。 生涯学習人材バンクに関する情報発信を行って、活用を進めていただきたい。 また、地域住民が生涯学習を通じて得た知識や技術を地域で発揮して活躍できる機会の創造にも取り組んでいただきたい。

基本目標2 いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる		
施策		委員会意見
2-1	市民の健康を守り充実した地域医療体制を推進する	市民の健康増進と疾病予防対策のため、各種健康診断や予防接種事業等を引き続き実施いただきたい。
2-2	スポーツを通じて健康で幸せに暮らせる環境をつくる	普段スポーツをされない方やファミリーが気軽に参加できるスポーツイベントを開催いただき、地域におけるスポーツ活動の広報に取り組んでいただきたい。 市民体育祭については、地域の状況を考慮した上で、今後の方針を検討いただきたい。
2-3	地域みんなで支え合い社会保障制度で暮らしを支える	社会保障制度等の情報が支援を必要としている人に確実に届くよう、相談体制を整え、制度全般の積極的な周知に取り組んでいただきたい。 久喜市社会福祉協議会と連携して、地域福祉やコミュニティを支えるボランティア人材の確保に努められたい。
2-4	子どもがのびのびと育つ安心の子育て環境をつくる	保育所等待機児童数ゼロを継続できるように努めるとともに、地域全体で子育てを支援する環境を整えられたい。 また、保育士確保等のため、保育所への補助金等の支援を継続いただきたい。
2-5	シニアが元気に生き生きと輝ける社会をつくる	シルバー人材センター等と連携して、シニア世代が地域において「人財」として活躍できるような場を拡大していただきたい。
2-6	障がいのある人が安心して暮らせる社会をつくる	障がい者（児）やその家族等を直接的に支援する事業と併せて、周囲の理解を促進するための事業を推進し、思いやりを持って支え合うことのできる地域共生社会の実現に努められたい。

基本目標３ いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる		
施策		委員会意見
3-1	災害への備えと対応を強化し安心して暮らせる環境をつくる	市全域での防災対策等について様々な機会を通じて情報提供を行い、地域で災害に備える体制づくりを進めていただきたい。 災害発生時の避難情報等が速やかに市民に伝わるよう、防災アプリが普及するよう努められたい。 地域に根付いた防災活動を行っている消防団員等の確保を積極的に行っていただきたい。
3-2	地域の防犯体制を充実し安心して暮らせるまちを目指す	近年、特殊詐欺等犯罪が複雑化していることから、警察等の関係機関と連携のうえ、住民一人ひとりの防犯意識の向上と、安心して暮らせる地域コミュニティづくりを推進されたい。
3-3	みんなが交通ルールやマナーを守り交通事故のないまちを目指す	引き続き、安全な道路交通環境を整えるとともに、交通安全に関する啓発活動を推進されたい。

基本目標４ 豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる		
施策		委員会意見
4-1	良好な景観を守り質の高い都市機能・住環境を整備する	良好な景観や住環境を保つため、県等と連携しつつ、地域の生活環境の適切な維持管理に努められたい。 地域住民や企業等と連携して、美しい街並みを保つことを推進するよう取り組まれたい。
4-2	安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める	超高齢社会が進行し、交通弱者の増加が予想されることから、市内公共交通の利便性がより向上するよう取り組まれたい。
4-3	憩いとやすらぎの空間を充実する	市内の公園や緑地について、能動的な維持管理や点検を実現されたい。
4-4	安全・安心な水道水の供給と衛生的な生活環境をつくる	老朽化した配水管について、計画的な更新を引き続き実施されたい。 また、下水道整備を推進し、衛生的な環境整備を今後も進めていただきたい。

基本目標５ 産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる		
施策		委員会意見
5-1	自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる	生産性の高い良好な耕作地となるよう、今後も農業従事者への支援を行っていただきたい。 市内農作物の魅力について発信できる体制づくりに努められたい。 農業振興拠点(道の駅)の整備について、久喜市ならではの独自性を生かして取り組んでいただきたい。
5-2	まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る	地域の企業やコミュニティ等と連携して、市内経済の循環の促進や新規事業を始める環境の整備を推進し、新しい企業の誘致に積極的に取り組み、街の賑わいの創出を図られたい。
5-3	誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる	ハローワーク等と連携し、地域においてライフスタイルに応じた就労ができるよう、働きやすい環境づくりや、より多くの就業機会の確保に努めていただきたい。

基本目標 6 水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる		
施策		委員会意見
6-1	生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる	今後も自然環境保全地区の保全活動を継続して実施し、市民が久喜市の自然に触れる機会について周知いただきたい。 また、市民の環境問題やゴミ問題に対する意識向上のため、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」を更に推進されたい。
6-2	廃棄物の適正処理と効果的な資源循環を推進する	ごみの排出量を削減できるよう、久喜市ごみ分別アプリの周知を図るなど、ごみの分別やリサイクルの推進に更に努められたい。 新ごみ処理施設を予定どおり稼働できるよう準備を進め、住民や企業に対して稼働に伴う変更点を周知してもらいたい。
6-3	地球環境問題に対応したゼロカーボンシティを目指す	環境問題に関する世界的な動向を注視し、市の環境への取組みに適切に反映されたい。 脱炭素化に向けて、公用車における電気自動車の導入以外の取組みも推進されたい。

基本目標 7 市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる		
施策		委員会意見
7-1	地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める	地域の人世代や立場を超えて交流し、知識や経験を共有して、街づくりに関わることができるよう取り組んでほしい。 コミュニティセンターについては、市民にとって利便性が高い施設であるよう努めてほしい。
7-2	地域間や国外との幅広い交流を促し出会いを大切にする	海外の姉妹都市との交流において、児童生徒や学生が参加する場合は、文化や価値観の違い等、こどもの人生に影響を与えるような経験を積むことのできる交流を目指していただきたい。
7-3	多種多様なステークホルダーと連携する	行政サービス向上のため、高等教育機関や民間事業者と積極的に連携して、地域における人の繋がりを生む機会を創出するなど、民間活力を生かした施策を更に推進されたい。 事業者の審査を多角的に適正に行ったうえで、PFIやPPP等の官民連携の手法を積極的に取り入れ、民間の創意工夫を有効的に活用し、行政の効率化に努められたい。
7-4	広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める	市のサービスや施設についてプロモーション活動を積極的に行い、市民の増加に繋がられたい。 コスモスフェスタなど花資源を活用したイベントをより魅力的なものとし、来場者の増加に努められたい。 本多静六博士の功績を市内外に発信し続けていただきたい。

基本目標 8 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる		
施策		委員会意見
8-1	時代に順応した行政改革を推進する	P D C Aサイクルの更なる推進を図り、施策の実現に向けた行政運営を図るべく、行政評価の方法を再度検討いただきたい。 行政組織の質の向上のため、市職員一人ひとりが能力を向上し、業務の改善や効率化を進めていただきたい。
8-2	D Xによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める	市のサービスについて、オンラインでの申請が可能になり、利便性が格段に向上しているため、今後も電子申請システムの拡充に期待する。 また、審議会等において、オンライン会議や電子媒体で資料を配布するなど I C T技術を活用いただきたい。 産官学連携のまちづくりプロジェクトに参加し、最先端の街づくりに関わった市職員の知見を、他事業への活用や市職員の人材育成に活かしてほしい。
8-3	持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する	公文書の情報公開請求等に適切に対応し、透明性の高い行政運営に努めていただきたい。

令和7年度の行政評価に対する意見

基本目標1 みんなが認め支え合い夢や希望が実現でき人材きらめくまちをつくる		
施策		委員会意見
1-1	互いを認め合い一人ひとりの人権を尊重する	人権に関する各種活動指標について、より実態に近く、市の課題や施策の成果を判断できる内容で設定いただきたい。 幅広い年代の人権侵害を防ぐため、今後も持続的な人権啓発活動を実施されたい。
1-2	すべての人々が暮らしやすい共生社会をつくる	今後、活動指標「管理職の女性割合」の目標値25.0%を達成できるよう、女性職員が管理職を目指しやすい環境を整えていただきたい。
1-3	心豊かな人材を育む学校教育を充実し夢と希望の実現を支える	K P I 「「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合」について、全ての児童生徒が楽しいと思えるよう、誰一人取り残さない教育の充実に引き続き努力していただきたい。 教員の資質の向上を図るため、サービスや倫理等に関する研修等を更に実施されたい。
1-4	地域に根差した生涯にわたる学びを進め郷土の歴史文化を大切にする	K P I 「生涯学習関連の講座・教室の参加者数」が目標値に達していない状況を踏まえ、施設利用者からの意見の汲み取り方を工夫するなどして、今後も改善に取り組んでいただきたい。 市内の文化財を身近なものとして興味を持てるよう、イラストを入れた看板を設置するなど、市民や市を訪れた方の目を引く工夫を実施されたい。

基本目標2 いつまでも健やかに生き生きと幸せに暮らせるまちをつくる		
施策		委員会意見
2-1	市民の健康を守り充実した地域医療体制を推進する	インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の予防接種助成事業を引き続き実施されたい。
2-2	スポーツを通じて健康で幸せに暮らせる環境をつくる	市内スポーツ施設の利用者数が増加するよう、直前で施設予約のキャンセルがあった場合の活用など、施設予約システムを含めた貸出方法を再考いただきたい。
2-3	地域みんなで支え合い社会保障制度で暮らしを支える	物価上昇等により、経済的に困窮した家庭の増加が懸念される。特に、こどものいる家庭の困窮について、学校や地域と連携し、早期発見・早期通報できるような体制を構築されたい。
2-4	子どもがのびのびと育つ安心の子育て環境をつくる	地域におけるこどもの人数の多寡にかかわらず、こどもの体験の機会が確保されるよう、I C Tの活用など様々な交流事業を実施されたい。
2-5	シニアが元気に生き生きと輝ける社会をつくる	高齢者に対して、就業支援だけではなく、自らの得意分野での創業について相談できる機会や場所の拡大を図られたい。 シニア世代が「人財」として活躍できる、地域としての環境づくりに努められたい。
2-6	障がいのある人が安心して暮らせる社会をつくる	障がいのある方が社会に出た後の生活や就業に関する支援に、より力を入れていただきたい。 また、障がいのある勤労者や、障がいのある方を積極的に雇用している事業所を後押しするため、県の表彰制度のP Rに加えて、市独自の事業を検討いただきたい。

基本目標3 いつまでも安全・安心な暮らしの環境が整っているまちをつくる		
施策		委員会意見
3-1	災害への備えと対応を強化し安心して暮らせる環境をつくる	火災や災害時における市民の安全確保のため、消防団員の人数が定数に近づくよう、周知や啓発活動により力を入れていただきたい。 また、市内で火災が多発していたことから、埼玉東部消防組合と連携して、火災の要因について注意喚起するなど、火災の予防について意識啓発に取り組んでいただきたい。
3-2	地域の防犯体制を充実し安心して暮らせるまちを目指す	パトロール活動を行う地域団体等への支援や、地域や警察と連携した防犯体制の強化に努められたい。
3-3	みんなが交通ルールやマナーを守り交通事故のないまちを目指す	横断中の歩行者が死亡する事故が発生していることから、ドライバーの交通ルール遵守を徹底させるため、より効果のある交通安全の啓発活動に取り組まれたい。 外国籍市民に向けて、国内での交通ルールや各種制度について、講習の開催やパンフレットの作成などの啓発活動を検討されたい。

基本目標4 豊かな自然と調和し便利で快適な住み心地よいまちをつくる		
施策		委員会意見
4-1	良好な景観を守り質の高い都市機能・住環境を整備する	市民や企業との協働による環境美化活動を推進するとともに、市民が自ら景観を守る意識の啓発に努められたい。
4-2	安全で快適な道路の整備と公共交通の利便性を高める	超高齢社会に対応できるよう、市内循環バスなどの公共交通の更なる利便性の向上に取り組んでいただきたい。
4-3	憩いとやすらぎの空間を充実する	公園の遊歩道や市有林等の資産について適切な保全を行い、地域に開かれた活用を検討いただきたい。 また、市民や企業との協働による維持管理についても検討いただきたい。
4-4	安全・安心な水道水の供給と衛生的な生活環境をつくる	他市で発生した道路陥没事故と同様の事故が発生することを防ぐために、引き続き配水管や下水道管の点検や更新等の業務を適切に行っていただきたい。

基本目標5 産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる		
施策		委員会意見
5-1	自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる	市内の農業従事者の高齢化による担い手不足が深刻であるため、スピード感を持って、農業従事者の増加に向けて取り組んでいただきたい。 また、農業に関心を持ってもらうための体験会などのイベントを開催していただきたい。さらには、今後完成される農業振興拠点（道の駅）も有効活用していただきたい。
5-2	まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る	ふるさと納税寄附金の寄附者数を大幅に増加させたPR手法等を継続するとともに、その手法を他の業務の改善に生かしていただきたい。 企業誘致条例に基づく助成金制度の周知を積極的に行うなど、優良企業等の誘致を促進されたい。
5-3	誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる	市内の事業所等において、働き手の能力を発揮させ、働きがいを感じられる環境を作る意識改革や改善を推進されるよう周知に努めていただきたい。

基本目標６ 水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる		
施策		委員会意見
6-1	生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる	引き続き施策の実現に向けた取組みを実施いただきたい。
6-2	廃棄物の適正処理と効果的な資源循環を推進する	K P I「市民１人１日当たりのごみ排出量」及び「最終処分量」について、引き続き目標値を達成するよう、取組みを継続いただきたい。 令和９年度開業予定の新ごみ処理施設や余熱利用施設及び（仮称）本多静六記念市民の森・緑の公園について、施設の魅力等の情報発信により力を入れていただきたい。また、施設稼働後のごみの分別方法の変更について十分に周知されたい。
6-3	地球環境問題に対応したゼロカーボンシティを目指す	市は地域新電力に関する目標や取組状況について、市民に対して積極的に情報発信してほしい。 また、電気自動車の導入のほか、脱炭素化を推進する事業に、より一層取り組んでいただきたい。

基本目標７ 市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる		
施策		委員会意見
7-1	地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める	１０～３０歳代の若い世代が審議会委員として参加しやすくするため、会議の開催方法を工夫するなど、早急な改善に努められたい。
7-2	地域間や国外との幅広い交流を促し出合いを大切にする	国際交流活動などを通じて、多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていただきたい。
7-3	多種多様なステークホルダーと連携する	引き続き施策の実現に向けた取組みを実施いただきたい。
7-4	広く久喜をＰＲして賑わいを創出しまちの魅力を高める	将来のまちづくりについてビジョンやコンセプトを改めて対外的に示すなど、市民を盛り上げるプロモーションを実施いただきたい。

基本目標８ 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる		
施策		委員会意見
8-1	時代に順応した行政改革を推進する	達成率の低い「重要業績評価指標（K P I）の年度毎の目標値に対する達成率」に対する要因の解析、課題解決、改善を図り、P D C Aサイクルの推進、目標の設定についても再考されたい。
8-2	D Xによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める	生成A Iを積極的に活用して、市民の利便性を向上し、職員が業務の効率化を進め、創造性を発揮できる環境を整備されたい。
8-3	持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する	重点取組債権について目標値を達成できるよう、適切な手法で債権の回収に取り組んでいただきたい。 幅広く市民の声や提案を受ける機会を設け、市政運営に活かしていただきたい。また市政に関する情報を積極的に発信していただきたい。